

# 平成26年度 練馬区立大泉北小学校 学校経営計画

校長 小島英樹

## 1. 教育目標

- 心の豊かな子ども
- よく考える子ども
- みんなと力を合わせる子ども
- ◎健康で根気強い子ども

\* 6年間の小学校教育を通して、「知・徳・体」のバランスのとれた自立(律)した子供を育てる。

\* 今年度の重点目標を『健康で根気強い子ども』とする。

## 2. 目指す学校像

- 「笑顔いっぱい大北小、みんなで育つ大北小」
- 子供の学力と体力の向上を目指す。
  - 子供の規律・規範意識の向上を目指す。
  - 子供の人権意識の向上を目指す。

\* 信頼に支えられた人間関係を基盤として、安全・安心な居場所としての学校を目指す。

### 3. 中期経営目標

#### (1) 授業力の向上

##### ○指導力を高めるための校内研究の充実

- 「大北小スタンダード」学習指導編・生活指導編の整備と  
全校共通指導による学習規律・生活ルールの徹底・定着
- 言語事項・表現活動の質的向上（話型・語彙・慣用句 他）
- 年間指導計画・評価計画の見直しと充実
- 国・都・区学力調査の分析と学力向上推進計画の作成

- 体育科指導法の継続研究（4年目）による指導力の向上
- 「大北小スタンダード」による体育授業の進化・充実
- 児童自身による「学習めあて」の意識化
- 全校児童への定期的な体育学習意識調査の実施・分析
- 新体力テスト結果分析による評価・改善

##### ○基礎的・基本的な学力の定着と体力の向上

- 朝学習・朝読書の推進
- 自校作成「算数プリント（1～6年用）」による習熟
- 図書館支援員および大泉図書館との連携
- 担任と講師によるティーティーチングの推進  
(算数・理科・外国語活動)

- 運動の日常化の推進（「運動貯金」「チャレンジカード」他）
- 体育行事による運動習慣づくり（マラソン大会・大縄集会他）
- 運動環境の整備（校庭・体育館）
- 大泉SSCによる放課後の体力向上事業の推進

## (2) 心のふるさとづくりの推進

○学校内外の豊かな自然環境を活用した体験的活動の工夫

→ 大北の森・どろんこ山・大北田んぼ 他

○四季を通じての観察・栽培・飼育活動の推進

→ 生命尊重・自然とのふれあい・生き物とのふれあい

→ 「みどりのカーテン」・校庭芝生等の活用

○「心のふるさと」としての郷土愛と愛校心の醸成

→ 練馬大根の栽培・収穫・たくあん漬け体験活動の推進

→ 「橋戸田んぼ」での体験活動・地域の方々との交流

## (3) 豊かな心を育てる活動の推進

○異年齢児童との交流活動（けやき班活動）

→ 助け合い、思いやりの心の育成

○季節行事や表現活動の推進

（こいのぼり集会・七夕集会・どんど焼き集会・豆まき集会他）

→ 豊かな感性と健康な心身の育成

→ 各種コンクールへの応募

○地域社会との交流活動の推進

→ 地域社会の一員としての自覚

→ 社会に貢献する意欲と態度の育成

○近隣幼稚園・保育園・中学校・高校との交流活動の推進

→ 学校探検・合唱発表会・リトルティーチャー・ボランティア

○挨拶運動の推進

→ 「あいさつボランティア」の活動

○名前を正しく呼ぶ。（名札着用）

→ 人権尊重・言語環境の向上

#### 4. 今年度の達成目標と具体的方策

##### (1) 『健康で根気強い子ども』の育成

###### ○「大北小スタンダード」学習指導編・生活指導編

→ 学習規律・生活ルールの指導・徹底・定着（規範意識の育成）

###### ○校内研究の充実

→ 体育科の学習指導の工夫・改善・日常化

→ 児童自身による「学習めあて」の意識化

###### ○学習意欲・活動意欲の喚起

→ 図書館支援員との連携・ICT機器の活用・新聞の活用

###### ○基礎・基本の確実な定着

→ 朝学習・朝読書の推進

→ 自校作成「算数プリント（1～6年用）」の活用

→ ノート指導の充実

###### ○特別支援教育の視点

→ 特別支援教育コーディネーター・特別支援教育員会の組織化

→ 巡回相談員との連携・副籍児童との交流活動

###### ○生命尊重・人権尊重の意識

→ 「人権教育プログラム」による研修と活用

→ 言語環境・教室環境の整備

→ 道徳授業の充実・「心のノート」の活用

###### ○教室環境の整備（美）

→ 掲示物の工夫・整理整頓・安全への配慮

###### ○正しい善悪の判断力と実行力の育成

→ 規範意識の育成・道徳授業の充実

###### ○教師は、最大の人的環境

→ 挨拶・言葉遣い・表情・服装・髪型・身だしなみ

- 教室を開く、授業を開く。
  - 全学級授業公開・校内自主研修会
  - 教育実習生の受け入れ

(2) 地域・保護者との連携

- 「開校40周年記念行事」の推進
- 学校応援団・PTA・地域との連携強化
- 青少年育成事業・地域行事等への積極参加
- 授業への参加機会の工夫
  - 白石農園・「橋戸田んぼ」・やすらぎミラージュ
- 学校評議員会および学校関係者評価の実施

(3) 当面する教育課題への対応

- 平成26・27年度練馬区教育委員会「小中一貫教育」研究推進校
  - 小中合同研究推進委員会・小中合同研究全体会
  - 小中合同分科会（全教科）・小中合同研究授業・協議会
  
- 幼保・小・中・高の連携・交流
  - 北大泉幼稚園・北大泉保育園・大泉学園幼稚園との連携
  - 学校探検・合唱発表会・ボランティア活動
  
- 学校防災体制の整備
  - 区「地震対策の手引き」に沿った組織的な対応
  - 避難拠点マニュアルの改訂・避難所開設訓練の実施
  
- 東日本大震災への関心・意識の継続
  - 区一斉防災訓練・保護者引き渡し訓練の実施
  
- 学校防犯体制の整備
  - 地域防犯組織の立ち上げ
  - 校内不審者対応マニュアルの改訂
  - 不審者対応訓練・非常通報訓練の実施

○読書活動の推進

→ 図書館支援員および大泉図書館との連携・朝読書の実施

○環境教育の推進

→ 「CO2削減キャンペーン」・「エコライフチェック」の実施

→ 「みどりのカーテン」（壁面緑化）・校庭芝生化の実施

→ 節電・節水の啓発と実施

○教育ICTの推進

→ 学習室の整備・電子黒板の活用

○キャリア教育の視点

→ 体験活動の充実

(4) 安全への配慮と事故防止

○“ヒヤリハット”（小さな危険を見逃さない！）

→ 日直・看護当番の巡回と日常点検

→ 定期的な安全点検の実施

○こまめな報告・連絡・相談・記録

→ 日直日誌・看護当番日誌の充実

○危機管理体制の充実

→ 緊急対応マニュアルの改訂

○児童の危険予知力の育成

→ 避難訓練・学級指導の充実

○食物アレルギー対応

→ 要対応児童の確実な把握と除去

→ 情報共有と対応マニュアルの整備

→ 定期的な研修会の開催とエピペンの講習

○サービス・勤務の厳正

→ サービス研修の充実

## 5. いじめ・体罰への組織的な対応

### (1) 校内体制の整備

- 校内いじめ対策委員会の設置  
(校長・副校長・主幹教諭・教務主任・生活指導主任・  
学年主任・養護教諭・当該学級担任・  
スクールカウンセラー・心のふれあい相談員 他)

### (2) 早期発見・早期対応

- 毎月1回の全児童対象「いじめ実態アンケート」の実施
- 生活指導委員会・特別支援教育委員会による情報収集
- スクールカウンセラー・心のふれあい相談員・生活支援員との  
情報共有・連携強化

### (3) 機動的な対応

- 関係諸機関との情報共有・連携強化  
(都児童相談所・区子供家庭支援センター・区教育センター・  
区教育相談室・主任児童委員・民生児童委員・青少年委員・  
学校応援団・区児童館・学童クラブ他)

### (4) いじめ・体罰の防止

- 区「いじめ対応指針」に沿った組織的対応力の強化
- 区「いじめ防止強化月間」に向けての啓発と積極参加
- 校長講話による啓発
- 校内研修会による教職員の意識向上